

## 調査・事例収集の報告 地域による人の誘致に向けての取組事例収集

### (1) 調査の概要

- ・ 各地域における人の誘致に向けての取組事例を収集し、対象者や施策の内容別に整理し、今後の地域による施策の参考として取りまとめた。
- ・ ここで整理した取組事例は、全都道府県に対して実施したFAXによるアンケート調査に回答のあった取組(平成17年度以降の人の誘致に関する事業内容、事業の対象者・目的とする居住形態、事業のコンセプト(テーマ設定))をまとめたものである。なお、現時点(2月20日現在)での回収数は30件である。

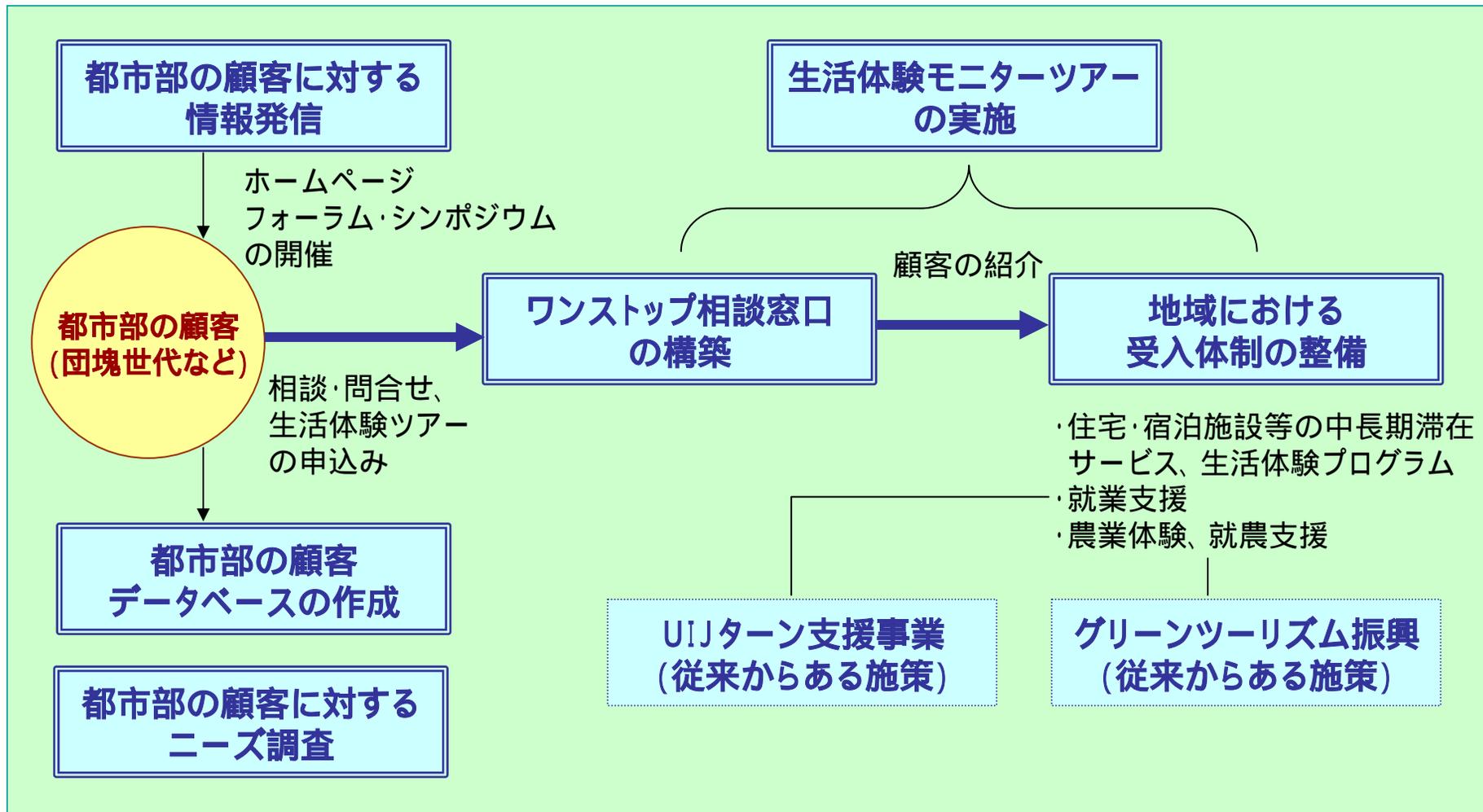
### (2) 結果のポイント

- ・ 事業内容分類についてみると、  
該当事業を実施していない東京都、神奈川県、大阪府等を除いて、相談窓口や受入体制の整備、情報発信はほぼすべての道府県が実施しているほか、体験・研修ツアーを実施している道府県も多い。  
人の誘致を担う人材育成は岩手県、広島県等のほかは、グリーンツーリズムや就農のインストラクターを育成するものがほとんどである。  
地域のファンクラブ・同好会のように都市住民を顧客として囲い込むための組織化等は北海道や青森県、茨城県、三重県などで行っている(H19年度から実施する県が増えている)。  
移動者への家賃補助やリフォーム資金の援助など資金的な支援を福井県、長崎県等で行っている。
- ・ 対象者を団塊世代に限定もしくは団塊世代を中心に据えている場合は、就業についての取組みはあまり見られない。いずれにせよ就業内容は農業を中心とした第一次産業が多い。
- ・ 居住形態は、定住を目的とする道府県がほとんどだが、都市近郊になると定住に合わせて二地域居住も目的とする府県が多く見られる。居住しないもの(ツアーのみ実施)はグリーンツーリズムである場合が多い。
- ・ コンセプト(テーマ設定)については、従来からのUターン施策が地場産業(農林漁業やその他産業)に就業することを明確に打ち出している。他の取組についてはスローライフを打ち出している県が多く、なかには社会貢献、健康をテーマとしている県もみられる。

# 人の誘致に向けた県レベルでの取組み(典型例)

現在、人材誘致に向けた取組みが各県で行われているが、その多くの県において以下の事業がほぼ共通して実施されている。

## 多くの県で実施されている典型的な事業



# 人の誘致に向けた県レベルでの取組み(特徴のある事例)

前頁の典型的な取組みに加えて、いくつかの自治体においては、以下のような特徴のある取組みが行われている。

